第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国パラスポーツ大会

奈良県準備委員会

第４回　広報・県民運動専門委員会
（書面開催）

第85回国民スポーツ大会・第30回全国パラスポーツ大会　奈良県準備委員会
第４回広報・県民運動専門委員会（書面開催）　資料目次

《　報告事項　》

（１） 委員の変更について　・・・Ｐ１～２
（２） 第７回常任委員会（令和８年３月２６日）の決定事項　・・・Ｐ３

《　審議事項　》

●委任事項

（１） 第85回国民スポーツ大会・第30回全国パラスポーツ大会
愛称・スローガンのロゴデザインについて（案）　・・・Ｐ４～６

報告事項１

第８５回国民スポーツ大会・第３０回全国パラスポーツ大会
奈良県準備員会広報・県民運動専門委員会　委員の変更について

令和8年1月29日から令和8年6月９日までの間における委員の変更について、次のとおり報告する。

所属機関・団体	新任者		前任者	
	役職	氏名	役職	氏名
公益財団法人奈良県スポーツ協会	事務局長	山田　和宏	事務局長	奥田　浩
奈良県障害者スポーツ協会	事務局長	岡部　朋子	事務局長	水野　博夫

第85回国民スポーツ大会・第30回全国パラスポーツ大会

奈良県準備委員会　広報・県民運動専門委員会　専門委員名簿

（敬称略）

	分野	機関・団体名	役職	氏名	備考
1	学識経験者	公立大学法人　奈良県立大学	教授	岡井　崇之	委員長
2	メディア	奈良新聞社	編集部デスク	増山　和樹	
3		奈良テレビ放送株式会社	報道制作局長	三宅　剛人	
4		NHK奈良放送局	コンテンツセンター長	緒方　英俊	
5	産業経済	奈良県商工会議所連合会	幹事	中村　吉代茂	
6		奈良県商工会連合会	事務局長	吉川　誓二	
7	観光	一般財団法人　奈良県ビジターズビューロー	事務局長	福田　純一	
8	スポーツ	公益財団法人奈良県スポーツ協会	事務局長	山田　和宏	
9		奈良県障害者スポーツ協会	事務局長	岡部　朋子	
10	県	広報広聴課	課長	村上　美紀	
11		スポーツ振興課	課長	吉村　宗浩	副委員長
12		観光経済課	課長	辻　勝式	

報告事項２

第７回常任委員会（令和８年３月 26 日）の決定事項

（１）第 85 回国民スポーツ大会　競技会場地市町村第５次選定
（２）第 85 回国民スポーツ大会　開催予定施設の変更
（３）第 85 回国民スポーツ大会　公開競技会場地市町村第２次選定
（４）第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国パラスポーツ大会
　　総合開・閉会式会場地選定
（５）第 85 回国民スポーツ大会　記録業務基本方針
（６）第 30 回全国パラスポーツ大会　審判員・要資格運営員養成計画
（７）第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国パラスポーツ大会
　　宿泊・衛生基本方針
（８）第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国パラスポーツ大会
　　輸送・交通基本方針

※決定事項の内容は以下のＨＰ上にて公開
https://www.pref.nara.lg.jp/documents/22757/20260330133244.pdf

審議事項１

第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国パラスポーツ大会
愛称・スローガンのロゴデザインについて（案）

１. 概要

昨年度、大会の愛称・スローガンを公募し、第３回広報・県民運動専門委員会（令和８年１月 29 日）にて、愛称を「はじまりの地なら国スポ・全スポ」、スローガンを「やまとの鼓動　未来へ響け」に決定した。

当該愛称・スローガンを使用した大会広報を行うため、愛称・スローガンのロゴデザインの制作等を行う事業者を公募型プロポーザルにより募集した。

２. 公募型プロポーザル実施概要

（１）募集期間　令和８年４月１日～５月８日

（２）審査日　　令和８年５月 18 日

（３）審査基準

プロポーザル選定審査会を設置し、応募者から提出された企画提案書を以下の基準により採点を実施した。総合点が最も高かった者を最優秀提案者として選定した。

①	業務理解度（５点）	・ 本業務の目的・内容を十分に理解し、企画の趣旨や目的、コンセプトが具体的かつ実効性の高い提案となっているか。
②	愛称・スローガンロゴ代表デザイン（45 点）	・ 大会の愛称・スローガンが持つ意味やメッセージを踏まえ、それらを適切にビジュアル化したデザインとなっているか。
		・ 大会の趣旨、コンセプトを踏まえたデザインとなっており、大会全体のイメージを分かりやすく訴求できているか。
		・ 国スポ・全スポらしさ、奈良県らしさが表現されたデザインとなっているか。
		・ 大会マスコットキャラクターせんとくんと組み合わせて使用した際にも親和性が確保されているか。
		・ 文字の大きさ、色づかい、レイアウト等に配慮し、視認性・判読性に優れ、誰にとっても分かりやすい（ユニバーサルデザインに配慮した）デザインとなっているか。
③	開催基本構想リーフレットのデザイン（20 点）	・ 県民に広く手に取って読んでもらえるようなデザイン、レイアウトになっているか。
④	広報グッズの提案（10 点）	・ 提案されたグッズの種類や企画、意図が明確であり、想定する配布対象や利用場面に適合していて、大会の認知度向上や機運醸成に効果が期待できる内容となっているか。

⑤	経費妥当性（10 点）	・ 見積内容、積算根拠が提案内容と整合がとれ、適切な範囲内であるか。
⑥	業務遂行能力 （10 点）	・ 過去の実績（ロゴデザイン・リーフレット・広報グッズの制作）について、本業務のクオリティが期待できる内容であるか。
		・ デザイン（愛称・スローガンロゴ、開催基本構想リーフレット、広報グッズ)、制作・納品の各業務が確実に実施できるスケジュールとなっているか。

（４）参加事業者数　５社
（５）選定企業　株式会社インターブレーン
（６）委託期間　令和８年５月 19 日～12 月 25 日

３．ロゴデザイン（案）について

別紙

４．ロゴデザインの公表について

開催内定日（７月 15 日）に報道発表を行う。

ロゴデザイン（案）

【コンセプト】
・健常者・障害者の両大会を象徴する２体のせんとくん（走る姿／車いすの姿）を配置し、ラインでつなぐことで一体感（つながり）を表現しています。
・古都の趣を感じさせる和のラインで、奈良という“はじまりの地”から未来へと受け継がれていく流れを表現しています。
・鹿のモチーフや奈良県の県花である奈良八重桜のイメージを取り入れ、地域の文化や風土を表現しています。
・スローガンでは、鼓動のリズムとその広がりを「赤・オレンジ・黄・金の円」のモチーフで表現し、円の大きさの変化で、鼓動が広がる様子を表現しています。
・赤は、奈良の寺社建築に見られる朱の色を想起させるとともに、生命やはじまりを象徴する色として「はじまりの地・奈良」のイメージと結びつけています。